

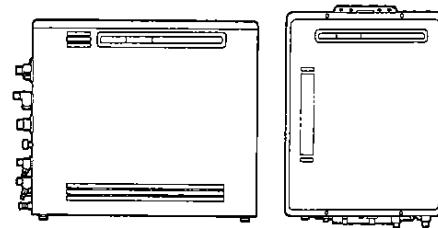
必ずお守りください
 商品の説明書と取扱いかた
 初めに読んでください
 使用
 方法
 凍結予防のしかた
 点検・お手入れ
 故障がなうとと思ったら

ガス風呂給湯器

〈強制循環タイプ〉

わくわく16 31-240/245/246/247/248型

型式名 RUF-1610SAG
 RUF-1610SAW (壁掛)
 RUF-1610SAWT
 RUF-1610SAWB



31-240型

31-245/246型

取扱説明書

ご使用前に必ずこの説明書をよくお読み
 のうえ、正しくお使いください。なお、
 ご不明な点があればお買い求めの販売店
 にお問い合わせください。

大阪ガス

大阪ガスのお問い合わせ先

大阪支社	大阪市西区千代崎3-2-95	電話 大阪 06 (586)3200	〒550
南邱支社	堺市住吉樓町2-2-19	電話 堺 0722(38)1131	〒590
北部支社	高槻市藤の里町39-6	電話 高槻 0726(71)0361	〒569
東邱支社	東大阪市稲葉2-3-17	電話 河内 0729(62)1131	〒578
兵庫支社	神戸市中央区夙川崎町1-8-2	電話 神戸 078(360)3100	〒650
京都支社	京都市中京区庵丸御池榎屋町358	電話 京都 075(231)8151	〒604
奈良支社	奈良市学園北2-4-1	電話 奈良 0742(44)1111	〒631
和歌山支社	和歌山市本町1-5	電話 和歌山 0734(31)2481	〒640
兵庫西支社	姫路市神屋町4-8	電話 姫路 0792(85)2221	〒670
豊商支社	豊岡市三坂町6-57	電話 豊岡 0796(23)2221	〒668
湖南支社	草津市追分町字荒畑680-1	電話 草津 0775(62)5311	〒525
彦根支社	彦根市大東町12-11	電話 彦根 0749(22)3131	〒522
(長浜営業所)	長浜市南兵衛町3-4	電話 長浜 0749(62)7171	〒528
本社・ガスビル サービスセンター	大阪市中央区平野町4-1-2	電話 大阪 06 (202)2221	〒541

大阪ガス株式会社

おねがい

ガスくさいときはガスの元せんに閉め、窓を全開にしてから（火気に注意して）大阪ガス支社・サービスショップにご連絡ください。

ごあいさつ

このたびは、大阪ガスのガス風呂給湯器をお求めいただきまして、まことにありがとうございます。

別添の保証書とともに、この「取扱説明書」を大切に保管してください。

もくじ

- 特長・機能の紹介1
- 必ずお守りください2
- 各部の名まえと扱いかた6
- 初めてお使いいただくときに10
- 使用方法
 - ・ 給湯・シャワー11
 - ・ お湯はり13
 - ・ 沸きあげ保温18
 - ・ 追だし18
 - ・ たし湯19
- 凍結予防のしかた20
- 点検・お手入れ23
- 故障かな?と思ったら24
- 仕様27
- 保管とアフターサービス28

特長・機能の紹介

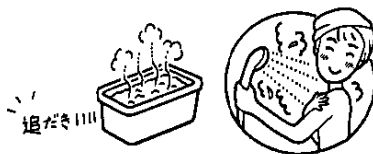
- 1 スイッチひとつでお風呂にお湯はりができます。→13ページをご覧ください。



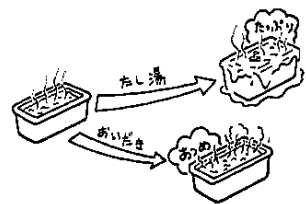
- 2 沸きあげ保温運転中やお湯はり後約4時間は「お湯が冷めないよう保温」を自動的に調整。いつでも快適なお風呂に入れます。



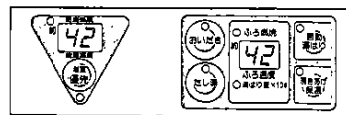
- 3 追だししながら、シャワーなども同時に使用ができます。



- 4 お好みに合わせて『あつめ』(おいだき)や『たっぷり』(たし湯)のお風呂が楽しめます。→18、19ページをご覧ください。



- 5 リモコンは見やすいデジタル表示で、お風呂の温度や給湯温度が一目でわかります。



- 6 お風呂への湯はり量はリモコンで16段階に設定できます。→14ページをご覧ください。

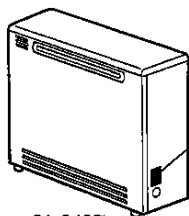


必ずお守りください

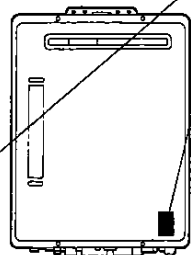
安全に正しくお使いいただくために、この項は必ずお読みください。

●ガス・電源の種類を確かめてください

- 器具に貼付してある銘板に表示されているガス（ガスグループ）以外のガスでは使わないでください。
- 銘板に表示してある電源（電圧・周波数）以外の電源では使わないでください。



31-240型



31-245~248型

（注）この部分を必ずご確認ください。

銘板例

RUF-B10SAG	
屋外式	
ガス用	
13A (kg/m ³)	12A (kg/m ³)
最大 40000	37300
標準 30000	28000
最小 10000	9300
電 源 電 圧 AC100V	
周 波 数 50/60Hz	
定格消費電力 1457 J/GW	
リンナイ 株式会社	
凍結予防ヒータ 作動時 138W	
型式登録番号 共A-5274	
-23°Cランク適合品(水抜時)	
品名 瞬間湯沸器	
最低作動水温 0.15kg/cm ²	
検査証印	

（例：都市ガス13Aの場合）

●用途についてのご注意

- 浴槽及びシャワー及び風呂のお湯はり・湯だき以外の用途には使用しないでください。
- 本体はソーラー対応できません。

●使用場所について

- 排気口から排気ガスが出ますので、近くに危険物、積木、ペット、その他加熱されて困るものは置かないでください。

必ずお守りください

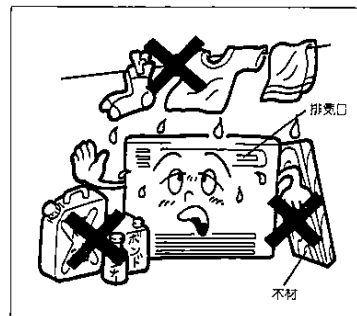
●使用上のご注意

●ガス漏れ予防

- 使用後は運転スイッチを「切」にしてください。
- 使用中にガスのおいや、不快なおいがないかとときどき確かめてください。

●火災予防

- 器具の上やそばに燃えやすいもの（紙、洗たく物、揮発油など）を絶対においたり近づけたりしないでください。
- 排気口の上にタオル、ふきんなどをのせしないでください。
不完全燃焼や異常過熱の原因になります。



●循環不良防止

- 浴そうの風呂アダプターをタオルなどでふさがらないでください。



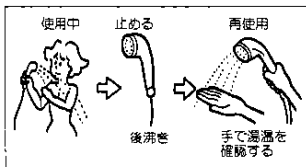
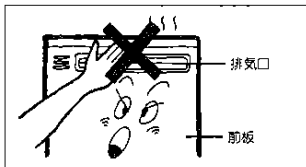
●銅と衛生について

- 水質によっては、銅イオンがわずかにお湯の中に入浴し、青色の化合物が生成され、浴そうやタオルなどが青くみえることがあります。健康上支障ありませんが、中性洗剤で洗い、すすぎをよくすることにより、発色しにくくなります。

必ずお守りください

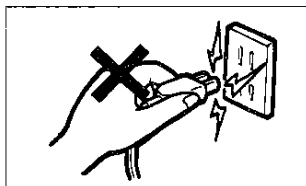
やけどのご注意

- ご使用中および使用後しばらくは、器具本体の排気口とその周辺は熱くなりますので、手をふれたりしないでください。特に、小さなお子様がいる家庭はご注意ください。
- シャワーなど使用後すぐに再度お使いになるときは器具の後洗きによって一瞬熱いお湯がでることがありますので、ご注意ください。



ガス事故防止

- ガス漏れに気づいたときは、ただちに使用を中止してガス元せんを閉め、お買い求めの販売店、またはお近くの大阪ガス支社にご連絡ください。
(絶対に使用しないでください)
- 万一ガスが漏れたときは、絶対に火をつけたら、スイッチの入、切や電源プラグの抜き差しなど、しないでください。



凍結についてのご注意

- 冬期には器具内の水が凍って器具が破損することがあります。
凍結のおそれのある期間は20ページの「凍結予防のしかた」にしたがって処置をしてください。

停電時のご注意

- 停電すると自動的にガスを止め、運転が停止します。ただし、水は止まりませんので、給湯せんを開けてください。
- 使用を一旦中止し、通電再開後、再操作をおこなってください。
- 停電が終わり電気が通じたら、リモコンの風呂設定温度、給湯設定温度を再設定してください。

必ずお守りください

凍結したとき

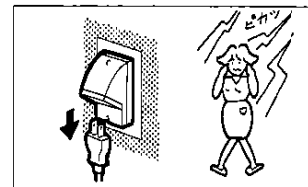
- ①器具や配管が破損しますと高額な修理費がかかります。(有料)
- ②凍結したままでは絶対に使用しないでください。
- ③再使用の場合は、凍結がとけた後全ての給湯せんから水が出ることを確認し、器具及び配管から水漏れがないことを確認後、11ページ「使用方法」の項以下の操作をおこなってください。

異常時の処置

- ご使用中にふだんと違った状態になったときや、地震・火災の場合、すぐに使用をやめて運転スイッチを切り、ガス元せん・給水元せんを開けてください。(24ページ「故障かな?と思ったら」にしたがって処置をおこなってください)

雷雨時のご注意

- 近くで雷の音が聞えてきたときは、落雷時の電子部品の破損を防止するため、すみやかに電源プラグをコンセントから抜いてください。
(電源ケーブルが埋込されている場合は、元のブレーカで切ってください)
- 雷が遠ざかったことを確認してから、電源プラグをコンセントにしっかりと差し込んでください。



日常の点検・お手入れ

- 日常の点検、お手入れをしてください。(詳しくは23ページをごらんください)
- 故障又は破損したと思われるときは使用しないでください。
- このとき、ご自分で修理はさらずお買い求めの販売店または大阪ガス支社にご連絡ください。

入浴剤や洗剤についてのご注意

- 硫黄、酸、アルカリを含んだ入浴剤や洗剤は熱交換器が腐食する原因となるものがありますので、入浴剤等のご注意文をじゅうぶんご参照ください。

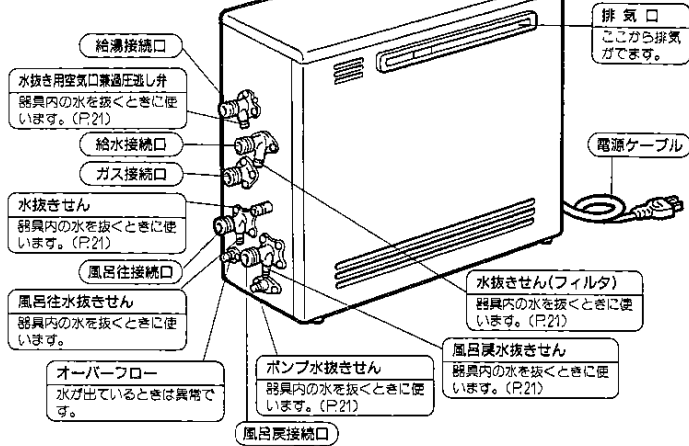
飲用にお使いのとき

- 器具内に長時間たまっていた水は、飲用または調理に用いないでください。

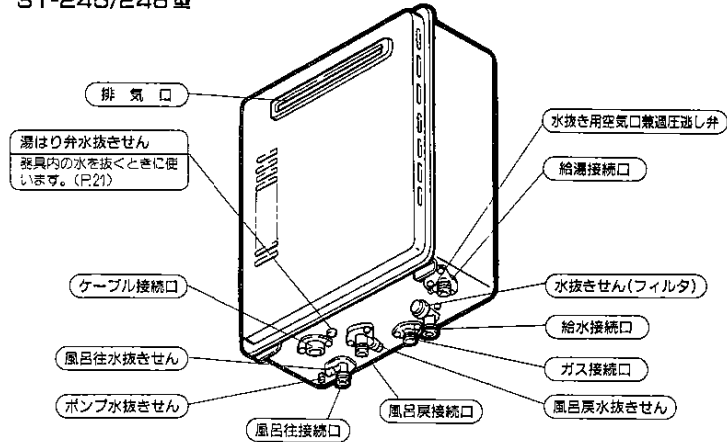
各部の名まえと扱いかた

器具本体

31-240型

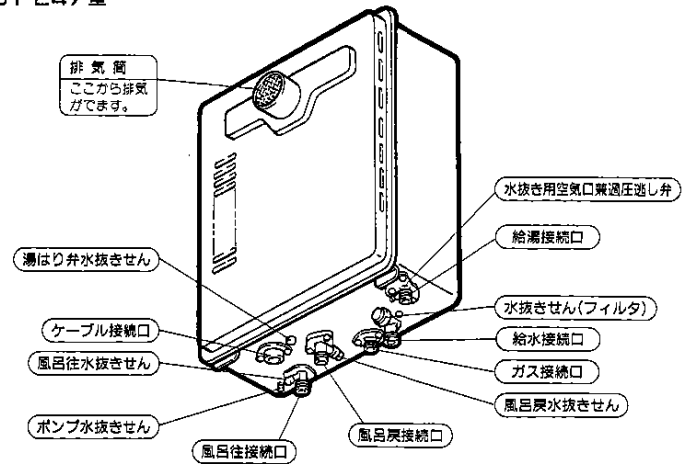


31-245/246型

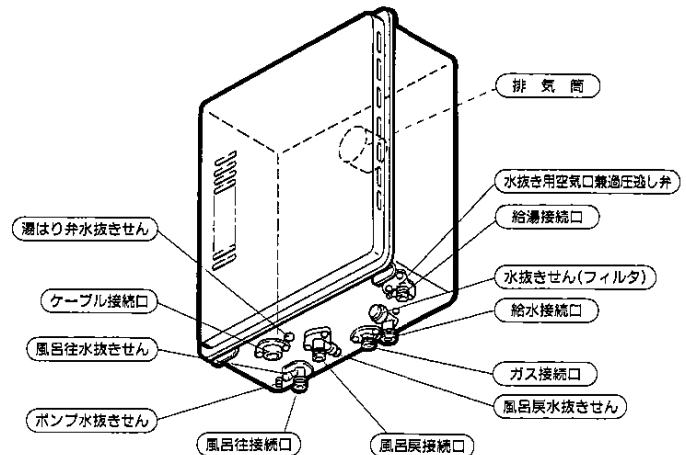


各部の名まえと扱いかた

31-247型



31-248型



各部の名まえと扱いかた

風呂リモコン

給湯設定温度表示

給湯されるお湯の温度の目安を表示します。
エラー表示
器具や使用方法に不都合があった場合は、給湯設定温度表示がエラー表示となってお知らせします。

給湯燃焼ランプ

給湯が始動すると点灯します。

ふろ燃焼ランプ

お風呂が燃焼すると点灯します。

湯はり量ランプ

このランプが点灯しているときは、お風呂への湯はり量を設定できます。

おいたきスイッチ/おいたきランプ

風呂温だきに使用します。

たし湯スイッチ/たし湯ランプ

お風呂のお湯をふやすときに押しします。

風呂設定温度表示

お風呂の湯きあげ湯量の目安を表示します。

湯はり量表示

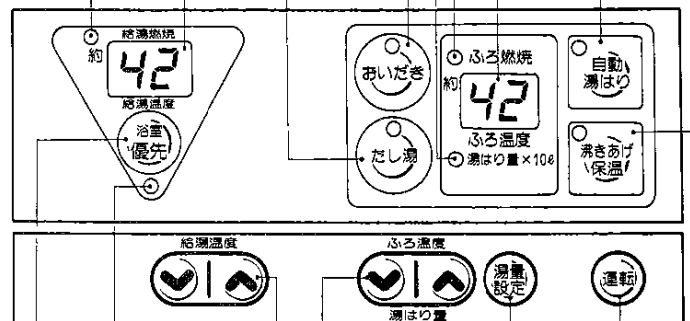
湯はり量ランプの点灯しているときは、お風呂への湯はり量を10で買った数字を表示します。

湯きあげ保温スイッチ/湯きあげ保温ランプ

お風呂を湯がきスイッチです。お風呂を湯がきしている時は、湯きあげ保温ランプが点灯します。
*保温中も点灯しています。

自動湯はりスイッチ/自動湯はりランプ

お風呂に湯ほりをすると押しします。



浴量優先ランプ

このランプが点灯しているときは、風呂リモコンで給湯やシャワーの湯量を戻らせます。

浴量優先スイッチ

お風呂の給湯やシャワーの湯量を戻るときのこのスイッチを使用し、浴量優先ランプが点灯して、お湯の湯量を戻らせます。

ふろ温度スイッチ

お風呂への湯はり温度や、湯きあげ湯量を決めるときに押しします。

湯はり量スイッチ

湯はり量ランプが点灯しているときに、このスイッチでお風呂への湯はり量(60~990ℓ・16ステップ)を決めます。

給湯温度スイッチ

お風呂の給湯やシャワー、キッチン・洗面所のお湯の温度(38℃~74℃・16ステップ)を決めるときに押しします。

湯量設定スイッチ

お風呂への湯はり量を決めるときに押しします。

運転スイッチ

お湯を使うときや「入」の状態にしておきます。

各部の名まえと扱いかた

メインリモコン

給湯設定温度表示

給湯されるお湯の温度の目安を表示します。

エラー表示

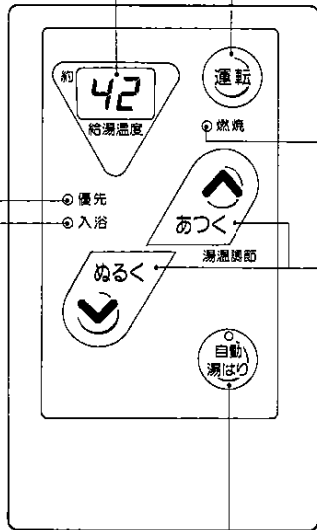
器具や使用方法に不都合があった場合は、給湯設定温度表示がエラー表示となってお知らせします。

優先ランプ

ランプが点灯しているとき、給湯の湯量を戻らせます。

入浴ランプ

お湯ほりが終了後または湯きあげ保温スイッチを押してから約4秒間点灯します。



運転スイッチ

お湯を使うときや「入」の状態にしておきます。

燃焼ランプ

燃焼が開始しているときに点灯します。

湯量調節スイッチ

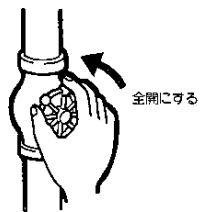
お風呂の給湯やシャワー、キッチン、洗面所のお湯の温度(38℃~75℃・16ステップ)を決めるときに押しします。

自動湯はりスイッチ/自動湯はりランプ

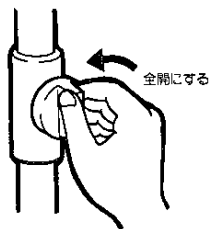
お風呂に湯ほりをすると押しします。

初めてお使いいただくときに

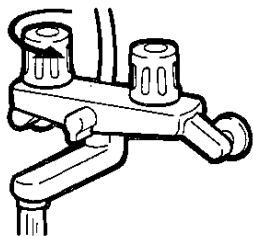
1 給水元せんを全開にしてください。



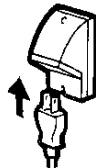
2 ガス元せんを全開にしてください。



3 給湯せんを開けて、水の出ることを確認してから開けてください。



4 電源プラグをコンセントに差し込んでください。



使用方法 給湯・シャワー

1 給湯設定温度の点灯を確認めます。



- 給湯設定温度が点灯していないときは、「運転」スイッチを押します。

2 お好みの給湯温度にセットします。

初めてお使いのときや電源プラグをコンセントから抜いてまだ差し込んだ後、また停電後の給湯温度は42℃になります。

風呂リモコンで温度調節するとき



- 「浴室優先」ランプの点灯を確認めます。
- 「浴室優先」ランプが点灯していないときは、「浴室優先」スイッチを押します。
- 給湯温度が変更されます。



- ▼ スイッチを押し続けると35℃まで連続で表示が変わります。
- ▲ スイッチを押し続けると60℃まで連続で表示が変わりますが、75℃を設定するときはもう一度押してください。

給湯温度

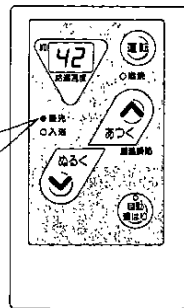


ご注意!

シャワー使用中に湯温を変えるとやけど等、非常に危険です。じゅうぶんにご注意ください。

メインリモコンで温度調節するとき

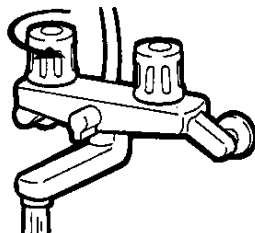
- 優先ランプの点灯を確かめます。
- 優先ランプが点灯していないときは、風呂リモコンの「浴室優先」スイッチを押すか、もしくは運転スイッチを1度切り、再び運転スイッチを押してから湯温を設定して下さい。



●湯温調節スイッチで風呂リモコンと同じ操作をします。

3 給湯せんを開ければお湯が出ます。

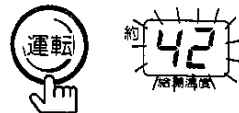
- 使い始めは給湯配管内の水が流れ出すまでしばらくお湯が出ません。
- ご使用後すぐに、お使いになるときは湯温が不安定になることがあります。シャワーで使用する時は手で湯温を確かめてからご使用ください。
- 給湯温度表示の数字は実際の給湯温度と多少異なりますので湯温設定の目安としてください。



ご注意!

- 浴そうの排水栓をしてください。
- 浴そうにフタをしてください。

1 給湯設定温度の点灯を確かめます。



●給湯設定温度が点灯していないときは、「運転」スイッチを押します。

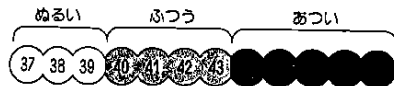
2 お好みの湯はり温度にセットします。

初めてお使いのときや電源プラグをコンセントから抜いてまた差し込んだ後、また停電後の湯はり温度は42°Cになります。

- 風呂リモコンのフタを開け、「ふる温度」スイッチでお好みの温度に調節します。

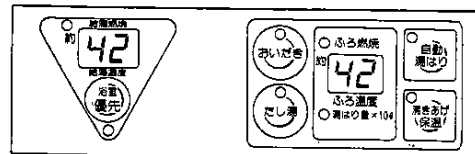


- 設定できる温度は37°C~48°Cの1°Cきざみで、12ステップです。
- 1回スイッチを押すと1°C変わります。押し続けると、連続で表示が変わります。
*温度表示は目安です。



お好みのお湯の温度には個人差があります。この表は、およその目安としてください。

- 風呂リモコンのふる温度表示部に設定した温度が表示されます。

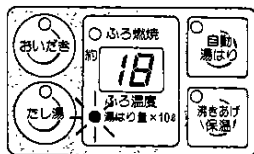


★お風呂への湯はり温度を決めたのち、願って《給湯(シャワー、キッチン、洗面所)》のお湯の温度を決めるときは→11ページをご覧ください。

3 お好みのお湯の量にセットします。

初めてお使いのときや電源プラグをコンセントから抜いてまた差し込んだ後、また停電後の湯はり量は 180 ℓ になります。

- 風呂リモコンのフタを開け、「湯量設定」スイッチを押すと、リモコンの表示が現在設定されている湯はり量を 10 で割った数字に変わります。たとえば、はじめて電源を入れたときは湯はり量は 180 ℓ に設定されているので、リモコンの表示は 18 となります。



- 湯はり量表示は約 5 秒間表示された後、自動的に湯はり温度表示に戻ります。

- 湯はり量が表示されているとき(湯量設定スイッチを押してから 5 秒以内)に、「湯はり量」と書かれているスイッチ(ふる温度調節スイッチと同じ)でお好みの量に設定します。設定できる湯量は右表の 18 通りのいずれかです。



- 湯はり量を希望の数字に変更したら再び「湯量設定」スイッチを押すか約 5 秒間そのままにしておけば、表示がふる温度に戻り湯量設定が完了します。

湯はり量 (ℓ)	リモコンの表示
60	6
80	8
100	10
120	12
140	14
160	16
180	18
200	20
220	22
240	24
260	26
280	28
300	30
350	35
400	40
990	99

ご注意

- 現在設定されている湯はり量が知りたいときは、「湯量設定」スイッチを押してください。

4 「自動湯はり」スイッチを押します。



(メイン・風呂リモコンのどちらでも操作できます)

- 「自動湯はり」ランプが点灯し、お風呂へのお湯はりが始まりませう。

ご注意

- 途中で止めたいときは、もう一度「自動湯はり」スイッチを押します。自動湯はりの機能が止まり、ランプが消えます。
この後、再度自動湯はりスイッチを押すと再び湯はりしますが、その間に他のスイッチを押したり給湯せんからお湯(水)をたしたりした場合は、湯はり量が多少ばらつくことがあります。
- 残り湯があるときに「自動湯はり」スイッチを押すと、図で設定してある湯量とほぼ同じになるまでお湯をばり、図の設定温度まで沸きあげますが、お湯はり終了時の湯量は残り湯の量・温度などによって多少ばらつくことがあります。

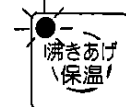
5 お湯はりが終わると自動でストップし、沸きあげ保温運転に入ります。

- お湯はりが終わると、「自動湯はり」ランプが消え、メインリモコンの「入浴」ランプが点灯します。
- このとき風呂リモコンでは「沸きあげ保温」ランプが点灯し、約 4 時間はお湯の温度がさがった場合約 30 分ごとに自動的にあたためる「沸きあげ保温」運転をおこないます。(17 ページの図参照)

(メインリモコン)



(風呂リモコン)



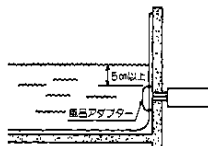
ご注意

- 図の湯はり温度の設定および図の湯量の設定は、運転スイッチを「切」にしても器具が記憶していますので、次に使うときあらかじめ設定し直す必要はありません。図の操作だけで結構です。
- 停電後や電源プラグを抜き差ししたあとは、自動的に 42°C、180 ℓ に戻ります。再度設定し直してください。

使用方法 沸きあげ保温

注意

- 沸きあげ保温運転にはお湯をたす働きがありませんので、あらかじめ入浴したい量のお湯（水）を浴そうに入れておく必要があります。（少なくとも風呂アダプターより5 cm以上うえまで入れてください）
- 浴そうにフタをしてください。



1 給湯設定温度の点灯を確認めます。



- 給湯設定温度が点灯していないときは、「運転」スイッチを押します。

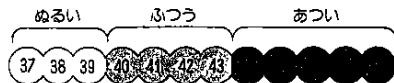
2 お好みの沸きあげ温度にセットします。

初めてお使いのときや電源プラグをコンセントから抜いてまた差し込んだ後、また停電後の沸きあげ温度は42℃になります。

- 風呂リモコンのフタを開け、「ふる温度」スイッチでお好みの温度に調節します。

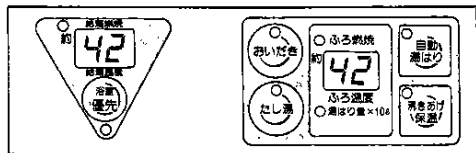


- 設定できる温度は37℃～48℃の1℃きざみで、12ステップです。
- 1回スイッチを押すと1℃変わります。押し続けると、連続で表示が変わります。
※温度表示は目安です。



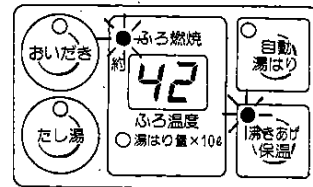
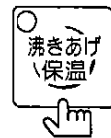
お好みのお湯の温度には個人差があります。この表は、およその目安にしてください。

- 風呂リモコンのふる温度表示部に設定した温度が表示されます。



使用方法 沸きあげ保温

3 風呂リモコンの「沸きあげ保温」スイッチを押します。



- 「沸きあげ保温」ランプ、「ふる燃焼」ランプが点灯し、お風呂を沸かし始めます。

注意

- 途中で止めたいときは、もう一度「沸きあげ保温」スイッチを押します。沸きあげ保温機能が止まり、ランプが消えます。

4 お風呂が沸きあがると自動でストップします。

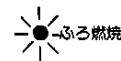
- お風呂が沸きあがると同時にふる燃焼ランプが消灯し、自動保温の準備に入ります。



- このときメインリモコンは入浴ランプが点灯します。

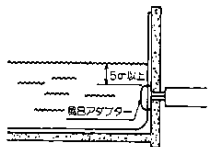
5 お湯の温度がさがったら、自動的にあたためます。

- 「沸きあげ保温」スイッチを押してから約4時間は、お湯の温度がさがった場合、約30分ごとに自動的にあたためます。このとき風呂リモコンの「ふる燃焼ランプ」が点灯します。
- 約4時間の保温運転が終わると、「沸きあげ保温」ランプが消灯します。



使用方法 追だき

浴そうにお湯、または水が入っていることを確かめます。
(風呂アダプターより5cm以上うえ)



ご注意!

- 浴そうへ水を入れてから沸かさず場合は、給湯で落とし込めより長く時間がかかります。
- 浴そうの排水せんは水もれないように、しっかり差し込んでください。

1 給湯設定温度の点灯を確かめます。

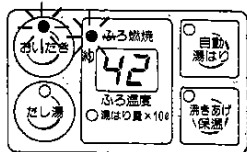


- 給湯設定温度が点灯していないときは、「運転」スイッチを押します。

2 風呂リモコンの「おいだき」スイッチを押します。



- 「おいだき」ランプ、「ふる燃焼」ランプが点灯し、追だきを始めます。
- 約3分間追だきをして自動で止まります。



3 追だきが終わると、ランプは消えます。

- 沸きあげ保温中に「おいだき」を押した場合、「沸きあげ保温」ランプは点灯したままです。
- 沸きあげ運転中に「おいだき」を押した場合、追だき終了時に「おいだき」ランプは消灯します。

ご注意!

- 3分間の追だきが終了したときの風呂温度が風呂設定温度よりも低い場合は、ひき続き追だきが行われ、風呂設定温度に達したところで自動で止まります。
- 途中で止めたいときには、もう一度「おいだき」スイッチを押します。追だきがとまり、ランプが消えます。

使用方法 たし湯

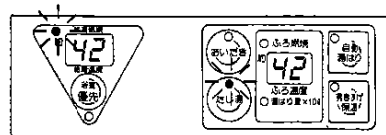
あらかじめ設定してある水量を変更せずにスイッチひとつでお風呂のお湯を増やせます。いつもより少し多めのお湯にのんびりしたいときなどに便利です。

1 給湯設定温度の点灯を確かめます。



- 給湯設定温度が点灯していないときは、「運転」スイッチを押します。

2 風呂リモコンの「たし湯」スイッチを押します。



- 「たし湯」ランプ、「給湯燃焼」ランプが点灯し、お湯をたしはじめます。
- 途中で止めたいときは、もう一度「たし湯」スイッチを押します。たし湯が止まり、ランプが消えます。

3 「たし湯」運転が終わると、ランプは消えます。

- 約20分のたし湯をして自動で止まり、「たし湯」ランプ、「給湯燃焼」ランプが消えます。

ご注意!

- 「たし湯」運転時のお湯の温度は、「ふる温度」表示と同じ温度です。
- 「たし湯」運転中にお湯を使った場合は、配管の条件によってはほとんどお湯が出ないこともあります。この場合は一度「たし湯」スイッチを押す（「切」にする）、お湯を使い終わってから再び「たし湯」スイッチを押してください。

凍結予防のしかた

冬期、寒冷地だけでなく暖かい地方でも、急な寒波による凍結のため器具や配管が破損することがあります。破損した場合、高額な修理費用がかかる場合があります（有料）。設置場所の温度が氷点下になり凍結のおそれのある時は、次の方法で予防処置をおこなってください。

●凍結予防装置による方法

- この器具は外気温がさがってくると自動的に凍結予防装置（ヒーター）が器具内を保温します。
 - この装置は運転スイッチの「入」「切」に関係なく作動しますが、電源プラグを抜くと作動しなくなりますので、ご注意ください。
- ※配管部分の凍結まで予防できませんので、必ず保温材を巻きつけてください。

●通水による方法

- この場合は器具本体だけでなく、給水給湯配管、バルブ類の凍結予防もできます。

（給湯側）

- ①運転スイッチを「切」にし、ガスの元せんにしめる。（電源プラグは抜かないでください）
 - ②給湯せんを開け1分間に約200cc以上（牛乳ビン1本ぐらい）（特に寒い日は多目に）を流してください。
- ※流量が不安定なことがありますので、念のため30分ぐらい後にもう一度流量をご確認ください。

凍結予防のしかた

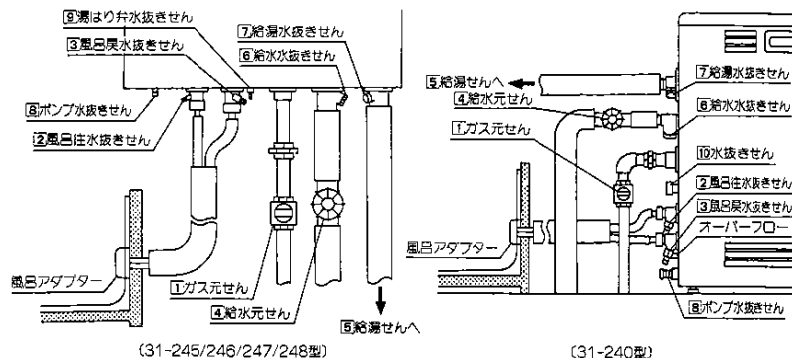
●器具内の水を抜く方法

入居前や長期不在の場合は必ずおこなってください。
また外気温が極端に低くなる場合もこの方法をおとりください。

■給湯側・風呂側の双方でおこないます。

1. 給湯側の水抜き

- ①運転スイッチを「切」にしてください。（電源プラグはまだ抜かないでください）
 - ②ガス元せん□を開めてください。
 - ③給水元せん④を開めてください。
 - ④給湯せん⑤をすべて（シャワーなどを含む）開けてください。
 - ⑤給水水抜きせん⑥、給湯水抜きせん⑦を開けてください。
- 31・240型は、水抜きせん⑧も開けてください。



2. 風呂側の水抜き

- ①ガス元せん□を開めてください。
 - ②給水元せん④を開めてください。
 - ③浴そうの水を排水してください。（浴そうの排水せんを抜いてください）
 - ④リモコンの運転スイッチを押して（「入」にする）ください。
- ※給湯設定温度と風呂設定温度が表示されます。
- ⑤風呂リモコンのおいだしスイッチを押して（「入」にする）、浴そうの風呂アダプターから水（お湯）が出てくることを確認してください。
- ※2階浴そうなど、浴そうが器具より高い位置にある場合は、風呂注水水抜きせん⑨を開けてから、風呂リモコンのおいだしスイッチを押して（「入」にする）、風呂注水水抜きせん⑨より水（お湯）が出てくることを確認してください。

- ⑥排水が止まったら再度おひだしスイッチを押して追だき運転を中止し、もう一度おひだしスイッチを押して(「入」にする)排水運転し、約1分間そのままにしておいてください。
- ⑦排水の確認後、運転スイッチを押して(「切」にする)ください。
※排水運転のまま数分間放置するとリモコンにOKモニターが表示される場合がありますが、異常ではありません。
- ⑧風呂往水抜きせん回、風呂戻水抜きせん回、ポンプ水抜きせん回を開けてください。
31-240型以外は、湧きり井水抜きせん回も開けてください。
- ⑨電源プラグを抜いてください。(分電盤の専用スイッチを「切」にしてください)

ご注意!

- 以上の操作で器具内の水が排水されますので、次にお使いになるまでそのままにしておいてください。
- 風呂の水抜きを行った後は、浴そうに水を流し込まないでください。

水抜き後の使用方法

ご注意!

再度使う場合の(通水)は、給湯側から行ってください。

1. 器具給湯側に通水してください。

- ①給湯せん回をすべて(シャワーなどを含む)開めてください。
- ②給水水抜きせん回、給湯水抜きせん回を開けてください。
31-240型は、水抜きせん回も開めてください。
- ③給水元せん回を全開にしてください。
- ④給湯せん回を開け通水を確認した後、給湯せん回を閉めてください。

2. 器具風呂側に通水してください。

- ①風呂往水抜きせん回、風呂戻水抜きせん回、ポンプ水抜きせん回を全て開けてください。
31-240型以外は、湧きり井水抜きせん回も開けてください。
- ②電源プラグをコンセントに差し込んでください。(分電盤の専用スイッチを「入」にしてください)
- ③リモコンの運転スイッチが切れている(給湯・風呂温度表示が消灯している)ことを確認した後、ガス元せん回を全開にしてください。
- ④リモコンの運転スイッチを押して(「入」にする)、給湯・風呂温度が点灯したら自動湯はりスイッチを押す(「入」にする)と自動的に注水されます。
※リモコンの給湯乾燥ランプが点灯し、浴そうの風呂アダプターからお湯が出ることを確認してください。
注)万一自動湯はりスイッチを押しても浴そうの風呂アダプターからお湯が出ない場合は、自動湯はりランプの点灯を確認してから風呂戻水抜きせん回を開けて、水が出るのを確認した後再度開めてください。
- ⑤もう一度自動湯はりスイッチを押す(「切」にする)と、お湯はりを中止(自動湯はりランプ消灯)します。

3. 器具への注水が終了しましたら運転スイッチを押し(「切」にする)、給湯・風呂温度表示が消灯するのを確認してください。

現場施工の状況により、「凍結予防装置による方法」や「器具内の水を抜く方法」では、配管部分の凍結まで予防できない場合がありますので、必ず保温材を巻くなどの処置をしてください。

点検・お手入れ

●点検・お手入れの際のご注意

- 器具を安全、快適にご使用いただくために、日常の点検・お手入れを必ずおこなってください。
- 点検・お手入れの際は運転スイッチを「切」にして器具が冷えてからおこなってください。
- 器具およびリモコンはカバーを開けないでください。
(故障の原因になりますので絶対に分解しないでください)

●点検

- 器具の上や近くに紙、プラスチック、油類など燃えやすいものをおいていませんか。
- 排気口や給気口をふさいでいませんか。

●お手入れ

- 外装の掃除
やわらかい布に中性洗剤を付けて、軽く拭いてください。
(タワシやブラシなどでこすらないよう注意してください)
- リモコンの掃除
リモコンの表面が汚れたときは、しゅうぶん水を絞った布で拭いてください。
★リモコンの掃除にはベンジンや油系系の洗剤を使わないでください。変形する場合があります。

点検・お手入れ後の確認

- 点検・お手入れの後は運転スイッチを「入」にして給湯せんを開いて器具が正常に作動しているか確認してください。
万一、異常な燃焼、異常音、異臭を感じられたときはお買い求めの販売店、またはお近くの大阪ガス社にご連絡ください。

定期点検のおすすめ

- 器具のご使用に支障がなくても、2～3年に1回ぐらいバーナーや各部の作動が「正常」かどうか定期点検をするのが、安全で長期間使用いただくための「ひけつ」です。お買い求めの販売店、またはお近くの大阪ガス社へご相談ください。

故障かな?と思ったら

■次のような場合は、故障ではありません。

こんなとき	理 由
給湯せんを絞りすぎて水になった	この器具は、通水量が約2ℓ/分以下になったときには、消火します。
低温のお湯が出ない	夏期など、低温のお湯を少量得ようとする、湯温が高くなります。給湯せんをもっと開いて出湯量を多くすれば湯温は安定します。
お湯が白く濁って見える	水には空気が含まれていて加熱すると気泡となってあらわれるためです。異常ではありません。
排気口から白煙が出る	外気温が低いときは排気ガスの水蒸気が白煙のように見えますが故障ではありません。
冬期など寒いときにポンプが自動的に働く	凍結破損予防のために、ポンプの自動運転を行います。
蛇口を開いてもすぐにお湯が出てこない	器具から蛇口までは距離があります。そのためお湯が出てくるまでには少し時間がかかります。
出湯停止後もファンの回転音がする	再使用時の点火をより早くするため約5分間は回転しています。
沸きあげ保温、追だきの途中でポンプが停止し、給湯燃焼ランプが点灯する	スイッチを押してから約1分以内に風呂水流スイッチがONしない場合、ポンプへの呼び水のために約5ℓのお湯をはるためです。浴そうにお湯(水)がない場合や追だき配管に空気が溜っていた場合に起こります。
自動湯はり、だし湯の時間が長くなる	自動湯はりやだし湯運転中にお湯を使うと、その分だけ湯はり量が減少してしまうために生じる現象です。
給湯温度設定が75℃から60℃に変わる	風呂リモコンの浴室優先スイッチを押したり、運転スイッチを一旦「切」にすると60℃に変わります。
スイッチを「切」にしてもファン、ポンプがまわる	運転スイッチ、および沸きあげ保温スイッチを「切」にしたとき、熱交換器の余熱を放熱するためです。

故障かな?と思ったら

ご使用中に、ふだんと違った状態になったときや不都合が生じたときは、そのままお使いにならず、ただちに使用を中止され、じゅうぶんな点検をしてください。

こんなとき	原因										処置方法	備考		
	給湯・ふいす漏れ	給湯せんを絞る	使用中に水たまり	湯温の不安定	排気口の白煙	冬期に自動運転	蛇口を開いてもお湯が出てこない	出湯停止後もファンが回る	沸きあげ保温、追だきの途中でポンプが停止し、給湯燃焼ランプが点灯する	自動湯はり、だし湯の時間が長くなる			給湯温度設定が75℃から60℃に変わる	
お調べ いただきたいこと														
電源プラグがはずれている	●	●						●	●				プラグをコンセントに差し込む	※
ガス元せんの開き不十分		●	●	●			●		●	●	●		ガス元せんを全開にする	※
給水元せんの開き不十分		●	●		●	●			●				給水元せんを全開にする	※
配管内に空気が残っている	●	●							●	●			点火操作を繰り返す	※
水フィルタの詰まり	●	●			●	●			●				詰まりを除去する	※
断水している		●								●			給湯使用をいったん中止する	※
凍結している		●								●			解凍するまで使用を中止する	※
給気口・バーナー・炎口・熱交換器・ノズルの目づまり	●	●	●						●	●	●		点検を依頼する	※
安全装置が作動		●	●							●	●		点検を依頼する(たびたび作動する場合)	※
電気回路の故障	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		点検を依頼する	※
停電	●	●	●						●	●	●		再通電するまで待つ	※
風呂リモコンの「浴室優先」スイッチが適切でない				●	●								風呂リモコンの浴室優先スイッチを正しくセットし好みの温度にする	※

故障かな?と思ったら

OK モニター 器具および使用方法に不具合があった場合は自動的に運転を停止し、表示画面にエラー表示が点滅します。

エラー表示	使用状態	内 容	処 置 方 法	主な点検箇所や部位
U1	給湯自動運転はり 沸きあがり保護 なし	給湯点火ミス	ガス元せん検器後、運転スイッチを一旦切つて、再操作	給湯側 ・ガスがきていない十分にきていない ・ガス電圧降下・スパーカ・スパーク電極 ・フレームロッド電極・電極ユニット など
U2	自動運転はり 沸きあがり保護 おいだき	風呂点火ミス	ガス元せん検器後、運転スイッチを一旦切つて、再操作	風呂側 ・ガスがきていない十分にきていない ・ガス電圧降下・スパーカ・スパーク電極 ・フレームロッド電極・電極ユニット など
U3	沸きあがり保護 おいだき	風呂水流スイッチがON しない	浴そうにお湯(水)が入っていることを確認後、運転スイッチを一旦切つて、再操作	・ポンプ・配管づまり・風呂水流スイッチ ・電極ユニット
U4	自動運転はり なし	湯はり不調 (31-240 型のみ)	湯はり配管が詰まるのを待つて再操作	・湯はり配管の詰まりによるづまり、つぶれ ・電極ユニット・リモコン
U5	自動運転はり なし 沸きあがり保護 おいだき	80分間経過で湯はり電圧 降 ON のまま	運転スイッチを一旦切つて、再操作	・風呂に排水せんでいない ・風呂水流スイッチ・湯はり電圧降下・ポンプ
E1	給湯自動運転はり 沸きあがり保護 なし	給湯失火	運転スイッチを一旦切つて、再操作	給湯側 ・燃焼不良または排気リークする場合 ・出ガス・フレームロッド・電極ユニット など
E2	自動運転はり 沸きあがり保護 おいだき	風呂失火	運転スイッチを一旦切つて、再操作	風呂側 ・燃焼不良または排気リークする場合 ・ファン・フレームロッド・電極ユニット ・比例弁
E3	給湯自動運転はり 沸きあがり保護 なし	給湯燃焼用ファンの回転を 検知しない	運転スイッチを一旦切つて、再操作	・給湯用ファンのトラブル ・ファンモータがホールIC不良 ・電極ユニット
E4	給湯自動運転はり 沸きあがり保護 なし	風呂燃焼用ファンの回転を 検知しない	運転スイッチを一旦切つて、再操作	・風呂用ファンのトラブル ・ファンモータがホールIC不良 ・電極ユニット
E5	自動運転はり 沸きあがり保護 おいだき	風呂サーミスタの異常、コ ネクターの接触不良	運転スイッチを一旦切つて、再操作	・風呂サーミスタのトラブル ・サーミスタ・リード線・コネクタ不良 ・電極ユニット
E7	自動運転はり 沸きあがり保護 おいだき	三方弁異常 (31-240 型のみ)	運転スイッチを一旦切つて、再操作	・三方弁のトラブル・三方弁のモータ ・三方弁スイッチ不良・三方弁メカ
E9	運転スイッチ ON	初期チェック不良、電極ユ ニット、リモコンの故障	運転スイッチを一旦切つて、再操作	・電圧降回路・フレーム検出電流 ・電極ユニット・リモコン
F1	給湯自動運転はり 沸きあがり保護 おいだき なし	給湯水流スイッチ、風呂水 流スイッチの故障	運転スイッチを一旦切つて、再操作	・給湯水流スイッチ・風呂水流スイッチ
F2	給湯自動運転はり なし	出湯速度の異常	運転スイッチを一旦切つて、再操作	・電極ユニット
H2	給湯自動運転はり なし	給湯出湯サーミスタの異常	運転スイッチを一旦切つて、再操作	・出湯サーミスタ系統・電極ユニット

●再操作しても状況が変わらない場合は、ガス元せん、給水元せんを開め、電源プラグを抜いてから、お買い求めの販売店、またはお近くの大阪ガスサービスショップ、もしくは大阪ガス受託へご連絡ください。

仕様

品 名		ガス風呂給湯器 (強制循環タイプ)			
品 番	31-240 型	31-245 型	31-246 型		
形 式 の 呼 び	RUF-1810 SAG	RUF-1810 SAW			
日 水 協 登 録 番 号	共 A-5274		共 A-5123		
外 形 寸 法	高さ 570 mm × 幅 590 mm × 奥行 180 mm	高さ 600 mm × 幅 470 mm × 奥行 180 mm			
重 量	29 kg		26 kg		
点 火 方 式	連続放電・ダイレクト着火方式				
給 湯 器	最低作動水圧	0.15 kgf/cm ²			
	最低作動水量	2.9 ℓ/分			
湯 はり 湯 温 調節 範囲	出 湯 温 度	35°C ~ 75°C (16 ステップ)			
		37°C ~ 48°C (12 ステップ)			
設 置 方 式	屋外壁置設置		屋外壁掛設置	パイプシャフト設置	
接 続	給 水	15 A (R 1/2)			
	給 湯	15 A (R 1/2)			
	ガ ス	20 A (R 3/4)			
	風呂(注・戻)	15 A (R 1/2)			
	電 気	AC 100 V (1.5 m)			
消 費 電 力	160 W (60 Hz)		155 W (60 Hz)		
排 気 温 度	280°C以下				
安 全 装 置	・立消え安全装置・過熱防止装置・残火安全装置・過圧防止安全装置 ・凍結予防装置・風呂用空だき安全装置・誘導保護装置 ・漏電安全装置・過電流防止装置				
付 属 部 品	・風呂リモコン・メインリモコン・風呂アダプター(31-240/245 型のみ) ・フレキ管(31-245 型のみ)・風呂継手・接続金具(31-240 型のみ) ・本体取付金具セット(31-240 型のみ)・ねじセット(31-245/246 型)				
別 売 部 品	・ケーブル線 2 芯 (4)38-132)・排気カバー (4)38-246) ・配管カバー (4)38-247)・厚壁用調節パイプ中(4)10570400) ・厚壁用調節パイプ大(4)10570401)				
使 用 ガ ス グ ル ープ	1 時間当りのガス消費量(最大消費量)(kcal/h)			出湯能力(能力大)(ℓ/分)	
		給湯風呂併用	給湯側	風呂側	上昇温度 25°C 40°C
都市ガス	13 A	40,000	30,000	10,000	16.0 10.0
L P ガ ス		3.3 kg/h	2.5 kg/h	0.83 kg/h	16.0 10.0

●本仕様は改良のためお知らせせずに変更することもあります。

●ガス：JIS に規定する標準ガス・標準圧力のとき。

●出湯能力は計算値です。

注) 31-246 型には別売の風呂アダプター (ロー付けSタイプ (4)36-227) のいずれかが必要です。

ロー付けLタイプ (4)36-228
ねじ接続Lタイプ (4)36-229

品名		ガス風呂給湯器 (強制循環タイプ)				
品番		31-247 型		31-248 型		
形式の呼び		RUF-1610 SAWT		RUF-1610 SAWB		
日水協登録番号		共 A-5123				
外形寸法		高さ 600 mm×幅 470 mm×奥行 180 mm				
重量		26 kg				
点火方式		連続放電・ダイレクト着火方式				
給湯器	最低作動水圧	0.15 kgf/cm ²				
	最低作動水量	2.9 ℓ/分				
出湯	出湯温度	35°C~75°C (16 ステップ)				
	湯はり湯温調節範囲	37°C~48°C (12 ステップ)				
設置方式		パイプシャフト(扉内)設置 前方排気型		パイプシャフト設置 後方排気型		
	接続	給水	15 A (R 1/2)			
接続	給湯	15 A (R 1/2)				
	ガス	20 A (R 3/4)				
	風呂(住・戻)	15 A (R 1/2)				
	電気	AC 100 V (1.5 m)				
消費電力		165 W (60 Hz)				
排気温度		260°C以下				
安全装置		・立消え安全装置 ・過熱防止装置 ・残火安全装置 ・過圧防止安全装置 ・凍結予防装置 ・風呂用空だき安全装置 ・誘導雷保護装置 ・漏電安全装置 ・過電流防止装置				
付属部品		・風呂リモコン ・メインリモコン ・風呂継手 ・PS 設置用ねじセット				
別売部品		・ケーブル線 2 芯 (4)36-132) ・扉内設置用取付ボックス ((4)36-248) ・厚壁用調節パイプ中(4310570400) ・厚壁用調節パイプ大(4310570401)				
使用ガスグループ		1 時間当りのガス消費量(最大消費量)(kcal/h)			出湯能力(能力大)(ℓ/分)	
		給湯風呂併用	給湯側	風呂側	上昇温度	
都市ガス	13 A	39,500	30,000	10,000	25°C	40°C
LP ガス		3.3 kg/h	2.5 kg/h	0.83 kg/h	16.0	10.0

●本仕様は改良のためお知らせせずに変更することもあります。

●ガス：JIS に規定する標準ガス・標準圧力のとき。

●出湯能力は計算値です。

注) 31-247/248 型には別売の風呂アダプター (□-付けSタイプ (4)36-227) のいずれかが必要です。

□-付けLタイプ (4)36-228
ねじ接続Lタイプ (4)36-229

保管とアフターサービス

●長期間使用しない場合

●長期間使用しない場合は次の操作をしてください。

- (1)ガスの元せいを閉める。
- (2)給水元せいを閉める。
- (3)電源プラグを抜く。
- (4)器具の水抜きをおこなう。(水抜き方法は 21 ページを参照してください)

●アフターサービスについて

サービスを依頼されるときは

①まず「故障かな?と思うたら」をご確認のうえ、なお異常のあるときはお買い求めの販売店または大阪ガス 支社にご連絡ください。

②アフターサービスをお申しつけのときは、次のことをお知らせください。

1. ご住所・お名前・電話番号・道順 (付近の目印等)
2. 品名……31-240/245/246/247/248 型 (右のようなラベルを器具の前面右下隅に貼付けてあります)
3. 現象……できるだけ詳しく
4. 訪問ご希望日

(N) 31-240

大阪ガス株式会社 (00)

転居される場合

●ガスの種類には、都市ガスとLP ガスとがあり都市ガスにはガスグループの区分があります。ガスの種類、ガスグループの区分が異なる地域へ転居される場合には、部品の交換や調整が必要となりますので、転居先のガスの種類、ガスグループの区分を確認のうえ、お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社にご相談ください。この場合、調整・改造に要する費用は保証期間内でも有料となります。

保証について

- このガス風呂給湯器には保証書がついています。
- 保証書に記載のように、ガス風呂給湯器の故障について修理いたします。詳しくは保証書をごらんください。
- 保証書を紛失されまると、無料修理期間であっても修理費をいただくことがありますので、この取扱説明書とともに大切に保管してください。

補修用性能部品の最低保有期間について

- 無料修理期間経過後の修理については、お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社にご相談ください。修理によって性能が維持できる場合は有料修理します。
- 補修用性能部品の最低保有期間は製造打切後 10 年です。その後の修理は、補修用性能部品がなくて、修理ができない場合がありますのでご了承ください。